

実施教員	所 属	共通教育科
	職・氏名	教授 石原 正三

テーマ	生体物質の非対称性：折り紙で知る鏡像体の世界		
実施目標 (高校生に何を学んでもらうか等)	アミノ酸・タンパク質の分子構造に基づく、地球上の生命に共通する非対称性を、折り紙で作った鏡像体の模型（モデル）を用いて、視覚的かつ直感的に理解する。		
授業内容の要旨	この授業は、講義と実験を組み合わせ、次の 3 つの部分から構成される。 第 1 部：講義 「鏡像体とは何か」、「軍手と手袋の原理」 第 2 部：実験 スペアミントとキャラウエーの香り 第 3 部：講義 折り紙の鏡像体モデルを用いたアミノ酸・タンパク質分子の非対称性の説明		
授業形態	☒ 講義	☒ 実験	演習
対象人数	40 人程度		
必要機材	☒ テレビモニター	スクリーン	☒ パソコン (パワーポイント)
	OHP	☒ その他 (液晶プロジェクターがあればベスト)	特になし
実施に当たっての その他留意事項等	参加する生徒は、アミノ酸やタンパク質の構造についてすでに学習していることが望ましい。		